

令和3年度 まちづくりの方針

2月17日(水)、杉戸町3月議会定例会の冒頭、古谷町長は、令和3年度の施政方針と予算編成方針を表明しました。

「施政方針」とは、これからの町政運営に向けて基本的な考え方と主な施策を示すものです。今回の特集では、施政方針の概要と、4月からの新年度で取り組む主な施策を紹介します。※町長が表明した下記方針は、文章を一部要約しています。

問合せ 政策財政課 政策行革担当 内線209
財政担当 内線272



みんなで育てるまち すぎと
自然とやさしさがあふれるまちへ

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が、町政だけでなく、町民の方々の生活に大きな影響を及ぼした一年でありました。

緊急事態宣言が行われ、今までに経験したことのない対応が求められる一方、杉戸町におきましても感染者が増加し、新しい生活様式の実践など、私を含め、多くの町民の方々の生活が大きく変わった年でもありました。

その影響は大きく、学校の臨時休業をはじめ、町内の企業、店舗の売り上げの減少や、毎年度、実施していた流灯まつりや夏まつり、宿場まつり

などの相次ぐ中止など、これまで、当たり前だったことが、当たり前でもなくなってしまうという一年でもありました。

しかしながら、そのような状況におきましても、緊急経済対策として実施された特別定額給付金の支給にあたっては、当町では他市町村に先んじたスピードで対応するとともに、「児童生徒への昼食支援」並びに「#杉戸エール飯」の実施など、いち早く、職員の柔軟な発想で多くの取組を実施したことは、大変な時だからこそ、職員と一丸となり、知恵を出し合いながら、取り組んでいくことの大切さを改めて認識したところでございます。

私は、これまで「第5次杉戸町総合振興計画後期基本計画」を始めとする、主要な計画を着実に推進してまいりました。

特に、昨年度におきましては、町の玄関口となる東武動物公園駅東口通り線の整備が進むとともに、東武動物公園駅東口通り線周辺まちづくり構想推進委員会が発足し、杉戸町、宮代町及び両町の町民の皆様や関係者により新たなまちづくりへの議論が展開されました。

また、旧杉戸小学校跡地の活用につきましては、民間活力導入のためのアドバイザーの方々とともに、サウディング型市場調査を実施し、着々と賑わい創出の核となるプランづくりを進めてまいりました。

今後におきましても、この2つの事業につきましては、引き続き、スピード感をもって進めてまいりたいと考えております。

しかしながら、その間にも、少子高齢化や公共施設の老朽

化などが急速に進んでいることに加え、未だに先の見えない新型コロナウイルス感染症の影響など、これからの「まちづくり」には、様々な課題が山積しております。

そのような状況の中、私は、令和3年度からの10年間を計画期間とする「第6次杉戸町総合振興計画」を、まちづくり町民会議の委員の皆様、総合振興審議会委員の皆様をはじめとした多くの町民の方々のご意見を取り入れながら策定したところでございます。

新しい総合振興計画におきましては、「みんなでよい町を作ろう」という、私のこれまでの一貫した考えを踏まえ、今後のまちづくりの基本理念を「みんなで考え、行動することで、よりよい『杉戸』をつくる」「町の将来像を『みんなで育てるまち すぎと』自然とやさしさがあふれるまちへ」とし、町民の皆様をはじめ杉戸町に住んでいる方々だけでなく、町内外の多

くの方々と協力しながら、よりよい杉戸町を作っていくことといたしました。

また、その先に実現を目指す杉戸町の未来の姿を、8つの未来像として位置づけ、この実現に向けた取組により、10年後、20年後の未来に、杉戸町を「自然とやさしさがあふれるまち」にするため、職員だけでなく、町民の皆様とともに知恵を出し合い、そのアイデアを育てていくことが重要であると考えております。

そして、この方針を実現するため、令和3年度当初予算につきましては、「第6次杉戸町総合振興計画」に加え、ますます加速する人口減少社会に対応していくための「第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略」や、効果的、効率的な行政運営を目指す「第7次杉戸町行政改革大綱」など、主要な計画に掲げた目標の実現に向けた取組を推進していくこととし、職員

一人ひとりが、目指す目標をしっかりと認識したうえで、お互いに知恵を出し合いながら創意工夫を図り、目標達成のための施策を立案、実行していく、「全職員で考え、行動する、新しい杉戸町づくり」を推進する予算として編成いたしました。

特に、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による町税の減収が見込まれる中であっても、各計画の初年度であることを踏まえ、若い世代の町内への移住・定住促進や出生率の向上、町の知名度向上や公民連携の強化など、町の将来を見据えた積極的な取組を行うことや、ますます厳しさを増す財政状況に対応していくための財政健全化への取組、そして、新しい生活様式の実践をはじめとした新型コロナウイルス感染症への対応などを基本に、予算編成に取り組んだところであります。

第6次杉戸町総合振興計画

まちの将来像「みんなで育てるまち すぎと ~自然とやさしさがあふれるまちへ~」の実現を図るための、8つの未来像を施策の柱にまちづくりを展開していきます。

- 未来像1 まちぐるみで子育てに関わり応援できるまち
- 未来像2 子どもたちに未来を拓く力を育むまち
- 未来像3 生涯を通じて学び、郷土に愛着を持てるまち
- 未来像4 自らの健康を守りながら安心して暮らせるまち
- 未来像5 地域がつながり、安全で災害に強いまち
- 未来像6 魅力ある産業を育み、発信できるまち
- 未来像7 機能的で自然と調和した快適なまち
- 未来像8 信頼される行政運営を推進するまち



▲この表紙が目印

令和3年度から令和12年度までの基本構想と令和3年度から令和7年度までの前期基本計画が掲載されています。ホームページにて閲覧できるほか、政策財政課窓口にて有償配布しています。(1部1,000円)